研究・調査報告書

分類番号		報告書番号	担当
C-139		21-324	慶應義塾大学　加藤眞三

題名（原題／訳）

Unknown safety and efficacy of alcohol hangover treatments puts consumers at risk
二日酔い治療薬の安全性と有効性が不明であり消費者が危険にさらされている

執筆者

Joris C Verster [1], Charmaine J I van Rossum [2], Andrew Scholey [3]

掲載誌

Addict Behav. 2021 Nov;122:107029. doi: 10.1016

キーワード	PMID
アルコール、有効性、二日酔い、予防、規制、安全性、治療	34225031

要　旨

二日酔い治療薬は、安全性と有効性の両方が確保されていることが重要である。本研究の目的は、（a）現在販売されている二日酔い治療薬の成分、（b）これらの製品について企業が疾病修飾を主張しているかどうか、（c）その有効性と安全性に関する独立した科学的証拠の範囲と質について評価することである。二日酔い治療薬 82 品目のうち、最も一般的な成分は、ビタミン B、ビタミン C、ミルクシスルエキス（シリマリン）、ジヒドロミリセチン（DHM）、N-アセチル L-システイン（NAC）で、多くはこれらが併用されていた。51 製品（評価対象 82 製品の 62.2%）に 1 日あたりの推奨摂取量を超える 1 種類以上のビタミンが含まれていた。ビタミン B3 は 32 製品中 9 製品（28.1%）、ビタミン B9 は 25 製品中 2 製品（8.0%）で耐容上限摂取量を超えていた。また、その他の成分についても、含有量の記載がないものが多く（例：DHM は 59%、NAC は 73%）、耐容上限量が不明であった。科学文献を調査した結果、評価対象となった 82 の二日酔い製品の安全性または有効性を証明する専門家の審査を経たヒトでのデータはなかった。さらに、製品名および／またはパッケージ／挿入物に明示的な疾病修飾の記載がある製品は 64.6%であった。また、45.1%の製品が NAC を成分として含有している。NAC は米国食品医薬品局（FDA）により医薬品として登録されているため、栄養補助食品や食品の成分として使用することは禁止されている。消費者の利益のために、二日酔い治療薬の安全性と有効性を裏付ける独立した研究は、製品が医薬品として登録されているか栄養補助食品として登録されているかにかかわらず、二日酔い治療薬の宣伝文句の最低要件であるべきだと結論付けている。